

2023 年7月6日

記者会、記者クラブ 各位

山県市教育委員会
東海国立大学機構 岐阜大学

山県市立中学校 2 校が初めて合同授業を実施 小中学校を安易に統廃合しない「山県方式」計画の第一歩

山県市教育委員会では、2023年度から小中学校を統廃合せず現状を維持したまま、学習内容によって他校との合同授業や異年齢学習を使い分ける「山県方式」の小中一貫教育計画の策定に向けて、東海国立大学機構 岐阜大学(須本・小林教授)・山県市教育委員会・市内学校の官学が協働しながら活動しています。

このたび、その計画の一環として、山県市立中学校2校の生徒が総合的な学習を実施する合同授業を下記のとおり行います。

当日は、山県市立美山中学校の2年生がスクールバスで山県市立伊自良中学校に移動して2・3時間目に合同授業を行います。2 時間目には、音楽を聴く中で芽生えた「美とはなんなのだろう」というイメージを、グループで対話をしながら図形や絵など一つの作品として表出することに挑戦し、「美しさ」における自分たちの固定化している見方や考え方を探っていきます。3 時間目には、美の価値は多様でよいのではないかという点や、John Cage「4'33"」という無伴奏で特徴的なオーケストラ演奏の意味について話し合います。

これまで少人数のためにクラス替えもなかった生徒が、年度途中で初めて出会う他校の生徒と、通常のカリキュラム内の授業をともに実施することは非常に稀であり、どのような対話がなされるか興味深いものです。

つきましては、当日の取材についてよろしくお取り計らい願います。

※少子化に伴う学校の小規模化対策は、国の方針に沿って学校の統合が主流となっています。

そうした中、山県市は 2003 年に山県郡3町村が合併して誕生した経緯も踏まえ、住民の意識を尊重しながら、学校に内在する機能や地域文化を守る役割もあることなどから、子どもと保護者と先生方の三者に軸足を置き、安易な統廃合はしない方針を固めています。

記

日時 令和5年7月19日(水) 9:40~11:30(2・3時間目)

会場 山県市立伊自良中学校 (〒501-2121 岐阜県山県市大門954)

対象 伊自良中学校26名・美山中学校36名 (2年生 計62名)

以上

問い合わせ先

山県市教育委員会 担当: 森川 勝介

TEL: 0581-22-6844 E-mail: morikawa-masayuki@city.gifu-yamagata.lg.jp

東海国立大学機構 岐阜大学教育学部 担当: 須本 良夫

TEL: 058-293-2233 E-mail: sumoto.yoshio.v3@f.gifu-u.ac.jp

取材の際は、安全面の配慮より、事前にメール等で須本まで連絡をください。